



令和8年(2026年)2月17日 公表
 令和7年版 山口県瀬戸内海側重要魚種の資源評価
 サワラ(瀬戸内海系群)

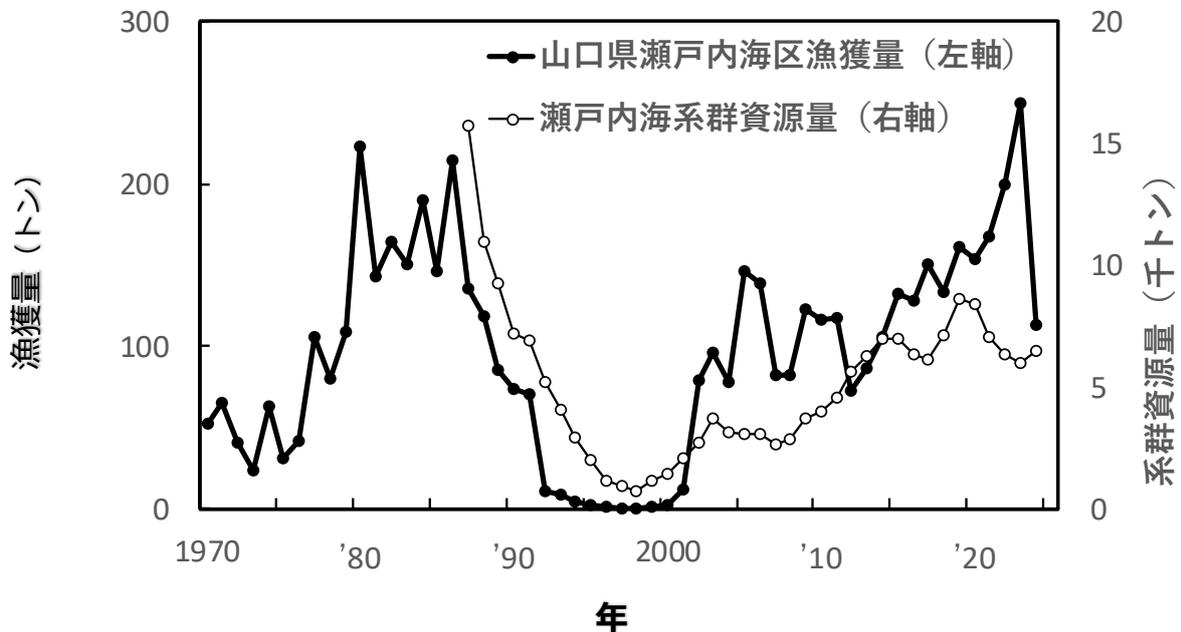


図 山口県瀬戸内海区サワラ漁獲量(農林水産省統計情報水産業調査HP)及び瀬戸内海系群サワラ資源量((国)水産研究・教育機構資源評価報告書)の推移

【漁業】サワラは主に流しさし網、ひき縄で漁獲される。主な漁獲サイズは尾叉長65～80cm(3～4歳)である。

【漁獲量】山口県瀬戸内海区の漁獲量は、1980年の223トン、1986年の215トンピークに減少傾向に転じ、1996年～2000年には1トン未満まで著しく減少した。その後2023年までは増加傾向に転じていたが、2024年は113トンと減少した。

【資源状態】資源量は1987年の15,718トンから急激に減少し、1998年に最低値の688トンとなったが、その後は増加傾向に転じた。2024年は6,500トンと推定され、前年と同程度であった。親魚量は1987年の10,813トンから1998年の443トンまで減少したが、1999年以降は増加傾向を示した。2024年は4,131トンと推定され、前年と同程度であったが、直近5年間では減少傾向を示している。漁獲割合は1992～1995年には44～54%であったが、その後増減を繰り返し、直近5年では32%(2024年)～38%(2021年)を示している。

サワラ瀬戸内海系群の資源評価関連指標値等(単位:トン)

2024年漁獲量	最大持続生産量(MSY)	2024年親魚量	目標管理基準値(案)	限界管理基準値(案)	禁漁水準(案)
1,941	5,600	4,131	12,900	5,700	900